

山行 サークル山行 丹沢主脈縦走 報告 2022/05/22  
山行場所 大倉尾根から塔の岳・丹沢山（みやま山荘泊） 蛭ヶ岳から黍柄山経由で西野々  
登り 1450m/603m、下り 196m/1863m 距離 8.5 k m/13.9 k m  
日時 2022/05/17（火曜日）/曇りのち雨、/18（水曜日）/晴れ  
行動記録 【17日】【渋沢駅北口 BS 812】=828 大倉 BS 900…1040 駒止め…1230 花立  
山荘 1300…1330 塔ノ岳 1350(給水) …1540 丹沢山（みやま山荘泊り）  
【18日】丹沢山 600…710 不動の峰 720…800 蛭ヶ岳 830…930 太郎小屋跡 940…  
1100 黍殻山水場 1120…1420 西野々バス停 【西野々BS 1620=1640 三ヶ  
木  
1717=1755 半原 1800=1900 本厚木駅】

山行記録 定例山行キャンセル者で丹沢主脈山行に行く。朝の大倉バスは登山者 20 名ほど  
乗っていく。天気予報は曇り時々雨であったが午後からは本降りとなる。



花立までは霧の中を進み、ヤシ  
オツツジが幻想的に見える。

塔の岳の手前で雨が降り始め、雨具を付けて登る。みやま山荘泊りのもう 1 パー  
ティーと前後して、視界のない中で雨と汗で濡れながら丹沢山に到着した。

丹沢山頂



みやま山荘は飯がうまい（カモのハム）、小屋がきれい、瓢々とした親父さんが

特徴で、もう一つ小屋は暖かく夜でも毛布1枚で眠れる。(小屋の断熱がいい)  
宴会も早々にして眠りについたが、夜半から月が出てきて晴れが期待できる。



朝が来た。

(丹沢山の天気は北西から崩れるとのこと。大月方向の天気を見ると当たる。)

炊き込みご飯を食べて7時に出発する。下りから始まる山登りは非常に楽だ。

丹沢山頂  
(昨日と同じ  
アングル)



途中、不動の峰休憩所で逆方向から来た10人パーティーの女性ガイドと話す。丹沢主稜を西丹沢登山センターから蛭ガ岳まで登ったとのこと、なかなかのガイドだ。

快調に進み、蛭に登り上げる。

桧洞丸と富士が重なる(蛭が岳下部で見える)

黍柄山への道はブナの原生林の中を進む。ブナの新芽が薄緑で、ここからの木洩

れ日が優しいなど話をしながら歩く。途中、青根から来た 4~5 パーティーとすれ違う。青根の駐車場は満車状態と思えるほどで新緑を求めてくる人気コースの様だ。

姫次から先は木道工事が新たに行われ、気持ちの良い道が失われてきた。

焼山までは快調に飛ばすがその先はあまり歩かれていないようで予想外に時間が掛かる。途中、1 か所登山道が崩れていて、非常に急な尾根筋に新しいロープがセットされていた。

1 本前バス焼山登山口 BS 1312 発は間に合わないことから、次のバス 1620 までの時間潰しを快適にするため、西野々を下る。

ここはバス停近くにコンビニ、休憩所、トイレも完備している。待っている間、ビールを 2 回買い込み、快適に時間潰しが出来た。今後この方向に下山される方はお勧め。



西野々休憩所

以上